

徐敏民 丸山千歌 主编

新界标

日本語

综合教程

 復旦大學出版社

徐敏民 丸山千歌 主编

新界标

日本語

综合教程

图书在版编目(CIP)数据

新界标日语综合教程 2/徐敏民、丸山千歌主编. —上海:复旦大学出版社,2014. 10
ISBN 978-7-309-07919-7

I. 新… II. ①徐…②丸山… III. 日语-水平考试-教材 IV. H360.42

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 014650 号

新界标日语综合教程 2

徐敏民 丸山千歌 主编
责任编辑/黄昌朝

复旦大学出版社有限公司出版发行
上海市国权路 579 号 邮编:200433
网址:fupnet@fudanpress.com http://www.fudanpress.com
门市零售:86-21-65642857 团体订购:86-21-65118853
外埠邮购:86-21-65109143
常熟市华顺印刷有限公司

开本 850 × 1168 1/16 印张 30 字数 516 千
2014 年 10 月第 1 版第 1 次印刷
印数 1—4 100

ISBN 978-7-309-07919-7/H · 1643
定价: 58.00 元

如有印装质量问题,请向复旦大学出版社有限公司发行部调换。
版权所有 侵权必究

华东师范大学·横浜国立大学 日语教材合作开发项目

新界标 日本語综合教程 (2)

主 编

徐敏民

丸山千歌

编 者

徐敏民

彭 瑾

乔 颖

丸山千歌

小川誉子美

奥野由紀子

四方田千恵

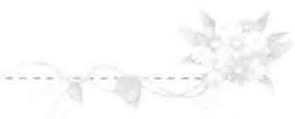
《新界标日本語综合教程(2)》中方编委会成员

主 编 徐敏民 (华东师范大学日语系 教授)
彭 瑾 (华东师范大学日语系 副教授)
乔 颖 (华东师范大学日语系 副教授)

《新界标日本語综合教程(2)》日方编委会成员

主 编 丸山千歌 (立教大学異文化交流学部 教授
前横浜国立大学留学生中心)
(以日语五十音图为序)
小川誉子美 (横浜国立大学国际战略推进机构 教授)
奥野由紀子 (首都大学東京人文科学研究科 副教授)
四方田千恵 (横浜国立大学国际战略推进机构 教授)

绘 图 : (日) 古川齐昭



本教材是由华东师范大学和日本横滨国立大学共同合作编写的一套综合日语基础教材。为了适应今后我国日语教学发展的需求,本教材在华东师范大学的《基础日语》系列教材的基础上,运用最新教学理念和教学模式,经过大幅度修改而成。《基础日语》是“上海市高校‘九五’重点教材”,曾获“2009年度上海市优秀成果奖”。但是,注重传授知识为目的的传统教学模式与教学方法,已难以适应培养具有国际视野、合作精神、异文化交流能力的人才需求。时隔10年在本教材修订之际,恰逢日本国际交流基金2010年在“欧洲框架”的基础上开发了“JF日语教育标准”。本教材利用该标准,结合Can-do理念,保留原教材语法体系,在中日两国学者历经3年全面合作与不断切磋,试用两年后,终于出版问世。

本教材在开发过程中,充分利用了作为姐妹学校的各种资源;如,开办横滨国立大学远程教育项目;开展短期交流(2011年度)及举办多次日语教学课程改革研讨会;参与“世界日语教育大会”并共同发表研究成果等机遇,集思广益、精益求精,充分体现了中日两国学者集体创作的智慧与结晶。

近年来,注重对学习者的自主学习能力的培养逐渐成为外语教学所追求的目标。围绕着这一目标,教育机构、教师、学生三者皆可参照的外语学习达成度的各项指标也日趋完善,并正在积极推广运用。可以预见将来中国学习者除了在日本学习和生活,还会有更多机会在日本以外的其他区域使用日语。本教材运用外语教学最新理念,以日本国际交流基金制定的“JF日语教育标准”为基准,旨在最大限度地体现中国教师的教学观和学习者的学习观,使其成为一套能够帮助广大学习者展开顺应新时代下日语教学需求的综合日语教程。学完本教材,预期达到“JF日语教育标准”A2~B1水平。

本教材在编写过程中得到“上海市教育委员会科研创新项目”以及“日本国际

交流基金会北京日本文化中心”的资助；在出版之际，得到了复旦大学出版社外语分社黄昌朝社长，以及担任插图创作的古川齐昭女士、担任教材录音的前川智先生、小森步女士的鼎力相助，在此一并深表谢意！此外，衷心感谢参与本书试用并提出宝贵意见的华东师范大学日籍专家菅田陽平先生以及袁可沁等各位同学。

本教材将精读、会话、听力与写作融为一体，并注重形成性评价与终结性评价的结合。本教材的出版，若能为我国日语课程改革以及基础日语教材开发添砖加瓦，我们将深感荣幸。同时，恳请广大读者多提宝贵意见，使本教材在实际使用中臻完善。

徐敏民 丸山千歌

2014年7月

1. 对象和目标

《新界标日本语综合教程(2)》面向初学日语并以汉语为母语的学习者。基础阶段由第一册和第二册构成,总共30篇课文,旨在拓展训练听说读写的4项技能,以提高学习者的日语综合运用能力。

每篇课文都以“可以完成……”的能力叙述文(Can-Do-Statements)来表述学习目标。本教科书的能力叙述文是参考“JF日语教育标准”的A2~B1水平而制定的。

能力叙述文可以帮助教师和学习者结合课文内容,展开学习目标明确的语言教学,还便于对学习完成度进行评价。本教材各单元附有自我评价表,学习者可以对前一阶段的学习及时检查,发现问题,积累信心。

2. 教材的构成

本教材由以下几部分构成:课文(1~15课)、单元小结(每5课1单元)、语法·句型索引和单词索引。

☆ 课文(1~15课)

● 可以完成什么?

以能力叙述文(Can-Do-Statements)来表达学习目标。本教材中的能力叙述文规定的日语学习难易度参照“JF日语教育标准”,从A2水平逐渐上升至B1水平。

● 要点是什么?

提示为了达成能力叙述文中所要求的能力而应该掌握的语法点、句型等语言知识。

● 会话

以中国和日本为舞台,以李敏(从中国华东大学到横滨大学的留学生)、社团前辈、教员、留学生同伴、宿舍管理员等作为登场人物展开情节会话。为了使会话具

有故事性,精心设计了許多场景。比如:以主人公李敏和小川学长的校园生活为主线,加入了李敏校外辅导员的就职活动、参加大学计划项目的应聘、与留学生同伴的交流等,这些情节体现了真实自然的生活场景。与此同时,充分发挥中国学习者使用汉字词汇的优势,突破了词汇量的限制,从初级开始便可接触、积累丰富的词汇。

此外,在会话中还加入了以跨文化比较交流的视角,阐述中日文化和社会差异等相关内容。

- 理解、表达

充分使用已学过的语法项目,在展现会话故事性的同时,加入电子邮件、信、博客等内容,帮助学习者完成真实生活中的信息输出,并设计了能够检验内容理解以及提高表述能力的课后练习。

- 词汇

“会话”和“练习”中出现的单词分别列入单词1和单词2,每个单词都标有声调。单词表中的词汇会反复出现在之后的课文中,以达到反复练习逐步积累的目标。

- 语法解说

语法解说部分尽量使用符合中国学习者认知特点且易于理解的语言表述。建议在课堂学习本教材的学生,在进入课文学习前事先预习语法解释部分。

- 表述解说

就语法解说部分没有涉及但在课文及理解表达中已经出现的语法和词汇进行简单的说明解释。

- 表述要点

主要罗列的是在完成能力叙述文中提出的任务时需要记忆背诵的常用表达。

- 句型练习

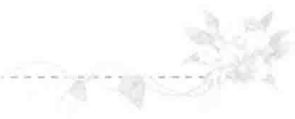
就各个句型及语法点进行基本练习。

- 会话练习

使用各语法点以情景式的对话方式扮演A、B角色进行练习。

- 综合练习

旨在培养学习者的交际能力。根据设定的场景,以A、B角色扮演的形式完成会话练习,并用PPT等形式分小组完成能力叙述文中设定的课题。



● 关联词汇

介绍在综合练习中可以参考的一些词汇。

※ 单元小结

单元小结中所收集的阅读材料如会议资料、网络情报、日本文化、社会等均为在日本实际生活中经常接触的真实信息。

语法·句型综合表可以帮助学习者及时对前一阶段的语言知识进行总结梳理。

自我评价表可以帮助学习者对前一阶段的学习及时检查,发现问题,积累信心。

※ 语法·句型索引和词汇索引

汇总了各课出现的语法和单词,方便复习使用。

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

第1課

スピーチ大会実行委員

第1单元

01

第1单元

第1課 スピーチ大会実行委員	1
1. ～ことになる	12
2. ～ことにする	12
3. なかなか～ない	13
4. ～ようだ(比喩、例示)	13
5. ～(の)に～(目的)	14
6. ～ことは～ですが	14
7. Vである	15
8. Vしておく	16
第2課 山下さんの留学希望	26
1. V(ら)れる(可能)	39
2. ～ようになる	40
3. Vたばかり	40
4. 少しも～ない	41
5. ～おかげで	42
6. ～かもしれない	42
7. Nにとって	43
8. Vろ(命令)	43
9. Vやすい、Vにくい	44

第3課 病院	54
1. ～しか～ない	66
2. ～ようだ(主観判断)	66
3. Nがする	67
4. ～すぎる	67
5. ～も～し、～も～(し)	68
6. お/ごVです	68
7. 数量詞ずつ	69
8. たいした	69
9. Nとして	70
第4課 鈴木さんの就職活動	80
1. ～なくて/～ないで	92
2. V(よ)うとする	92
3. ～はもちろん、～も	93
4. ～さえ～	93
5. ～には、～	94
6. (必ずしも)～とは限らない	95
7. ～のに、～(逆接)	95
8. ～に伴って、～	96
9. 決して～ない	96
10. Vることがある	97
第5課 歌舞伎デート	106
1. ～ば、～	118
2. ～なら、～	119

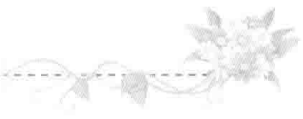


3. Vてしまう	119
4. ～さえ～ば～	120
5. ～ても、～	121
6. ～ば～ほど～	121
7. Nに / と比べて～	122
ユニットリーディング1	130
ユニット1 まとめ	139

第2单元

第6課 日本の高校で	146
1. ～たら、～	157
2. ～と、～ (仮定)	157
3. ～そうだ (伝聞)	158
4. ～といい	159
5. ～ばいい	160
6. ～ (の) ではないか	160
7. ～ようにする	161
8. ～ごとに	161
第7課 落とし物	172
1. Vてあげる	184
2. Vてくれる	184
3. Vてもらう	185
4. Vてほしい	185
5. なんて～だろう	186

6. ～じゃないか	187
7. ～につれて	187
8. ～に対して	188
第8課 鈴木夫妻の旅行の計画	196
1. ～でも	208
2. ～かしら、～かな	208
3. ～そうだ(様態)	208
4. ～と言えば、～	209
5. ～まま、～	210
6. Nをしている	211
7. N1 から N2 にかけて	211
第9課 環境問題	220
1. V(ら)れる(受身)	233
2. ～と言われている	236
3. ～一方だ	236
4. N1 に N2 に～	237
5. ～たらいい	238
6. ～たら、～た	238
7. いったい～か	239
8. ～ように、～	240
第10課 鈴木夫妻の中国旅行	250
1. ～をはじめ、～	262
2. ～ばかり～	262



3. ~みたいだ.....	263
4. ~というより、(むしろ) ~	264
5. ~まで~.....	264
6. ~らしい.....	265
7. ~も~ば、~も~.....	266
8. ~に対して~.....	266
9. Nにおいて~、N1 における N2	267
10. ~うえに、~	268
ユニットリーディング2.....	278
ユニット2 まとめ.....	282

第3单元

第11課 スピーチ大会の準備	288
1. V (さ) せる (使役).....	301
2. V させてもらう	302
3. それとも.....	303
4. Nらしい	304
5. ~ように見える.....	304
6. ~たびに、~.....	305
7. ~ぐらい~.....	306
8. あまりに (も) ~.....	306
9. なんて~.....	307
第12課 贈り物と経済	316
1. ~ところだ.....	328